

アーティスト・イン・レジデンス完了届

2025年 12月 24日

社会連携センター長 殿

所属学部・専攻 美術学部デザイン専攻

申請者

職名・氏名 教授 本田敬

社会連携センター主催事業 アーティスト・イン・レジデンス「 Emerging Forms at the Edges of Now (今この瞬間に現れる新たな形態)」を次の通り開催しましたので報告します。

実 施 期 間	11月11日（火）～12月14日（日）（作家滞在期間は11月11日（火）～11月24日（月））				
事業の実施概要	プログラム	ワークショップ	懇親会	アーティストトーク	展覧会
	日時／会場	11月15日（土）	11月18日（火）	11月24日（月）	11月24日（月）～12月14日（日）
	集客数	10名	6名	10名	139名
事業成果について	<p>作家のディンフ氏の活動範囲が、現代アート、写真、クラフト、デザイン、製本と広範囲にわたっていたことから、多種の学生や参加者、観覧者に彼女の作品と活動を紹介し、また体験してもらうことができた。ワークショップに関しては土曜日に開催したこともあり半数以上の6名が学外からの参加で、内3名は高校1年生の学生であり、学外へ本学のアーティストインレジデンスの活動が少なからず良い形で伝えることができたと思われる。学内、美術学部の学生に向けた懇親会でもデザイン専攻以外からの学生も参加し、ディンフ氏の英語によるプレゼンを試聴し、一部の学生は自らの作品をプレゼンして作品への意見を作家に聞くなど、積極的な交流が見られた。</p> <p>SA・KURAの個展最初のアーティストでは、彼女の生い立ちから各国で行ってきた滞在制作の話を作品の前で語られ、作品の理解がより深まる導入になった。展示は立体作品が少なかったものの、彼女自身が撮影した写真の魅力を活かす展示方法がとられ、中日新聞でも大きく紹介された。</p>				
新聞・雑誌などメディアへの掲載	日付	新聞／雑誌名	ページ	表題	
	12/10	中日新聞 朝刊	13	身近なものにアートが宿る	
外部資金の取得状況	なし				
当学内での主な担当教員	本田敬		担当教員の連絡先		

- 1 枠内に記入できないときは、別紙を用いること。
- 2 事業の資料（チラシ、リーフレットなど）を添付すること。